

テーマ：観光（実践校）

## 留萌管内 増毛町立増毛小学校

## 本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとである増毛町に対する愛着や誇りを育むために、本単元の学びの過程を「増毛町の観光を知る」「増毛町の観光を盛り上げるための方策を考える」の2サイクルの構成にしました。1人1台端末の活用及び友だちや講師の方の話を通して、増毛町の観光について探究的に学習しました。

## ふるさと教育・観光教育の実践内容

## 単元目標

地域の観光について、自分たちの生活との関わりについて調べる活動を通して、増毛町の特長を理解するとともに、観光を盛り上げるために、自分たちには何ができるかを具体的に考え、インタビューしたり、ポスターや紹介動画、パンフレットを作成したりするなど、自分たちにできることを行動に移すことができるようにする。

## 取組の様子

## (1) 課題の設定

増毛町の観光について、友だちの知識と比較検討することにより、新しい気付きが生まれ、課題意識をもつことができました。

## (2) 情報の収集

日本製鉄や札幌テレビ放送との協力事業を通して、増毛町と企業との関わりについて学ぶことができたほか、企業にメールや電話でのインタビュー、増毛町のWebページを閲覧し、詳しく調べたいことについて情報を集めることができました。

## (3) 整理・分析

集めた情報について、「考えるための技法」から、「関連付ける」「理由付ける」「具体化する」の3つの視点を提示することにより、増毛町の観光について、自分たちの知識や考えと照らし合わせながら、整理・分析することができました。

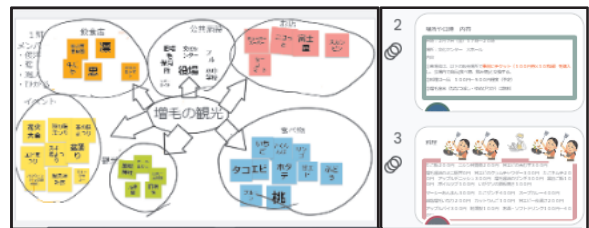
## (4) まとめ・表現

スライドの共同編集機能を活用し、グループで協力しながらまとめることができました。

また、「考えるための技法」をスライドに書き加えることにより、自分たちのグループでの考えを深め、表現することができました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・課題別でグループ編成する際に、自分の興味関心に応じたグループを選択できるようにしました。
- ・Jamboard とスライドの共同編集機能により、多様な意見や考えに触れ、知識を深めることができるようにするとともに、一人一人のペースに合わせた活動になるよう指導計画を工夫しました。



【1人1台端末の共同編集の画面】



【スライドで発表する様子】

## 実践の振り返り

- ・1人1台端末を活用することにより、調べ学習やまとめの学習において、児童一人一人が自分のペースで学習活動に取り組むとともに、友だちの作業の様子をすぐに確認して必要に応じて話し合って修正したり、友だちとの交流から新たな課題設定に向けた意欲を高めたりすることができました。
- ・「情報の収集」から「まとめ・表現」において、比較する、分類する、関連付けるなどの「考えるための技法」の視点をういて活動することにより、整理・分析の質の向上が期待できます。